

肝炎検査受けてね!

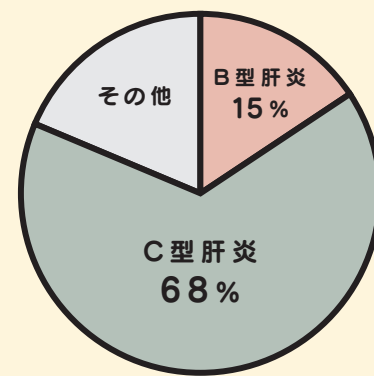


なんと! 80%以上

肝臓がんの原因は80%以上が肝炎ウイルス

日本人のがんによる死因の第3位、肝臓がん。
その80%以上がB型あるいはC型肝炎ウイルス感染によるものです。
原因がはっきりしているので、
肝臓がんは予防可能ながんのひとつといわれています。
しかし、肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、自覚症状がないまま
病気が進行してしまうことがあるので注意が必要です。

[肝臓がんの原因]



日本肝臓学会 第18回全国原発性肝臓癌調査報告(2004~2005)

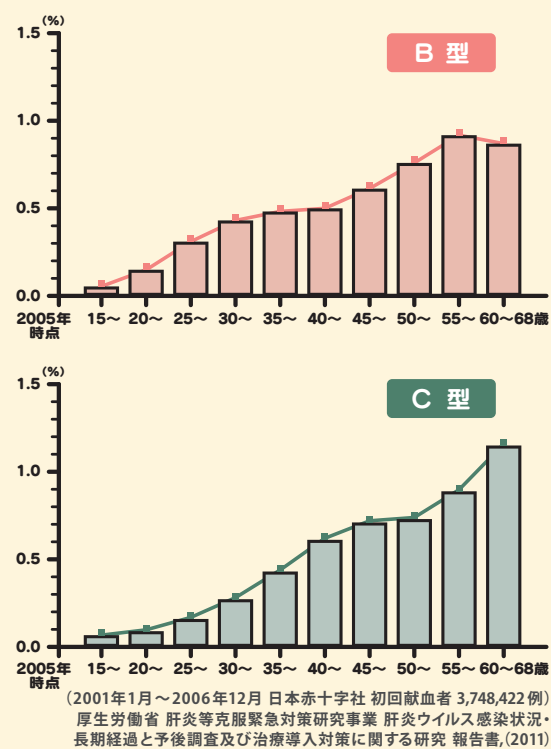


まさかの! 1/40

国内最大級の感染症、 50代以降の方は要注意

日本人の40人にひとりがB型あるいはC型肝炎ウイルスに
感染していると推定され、とくに50代以降の方に
感染者が多くみられています。

[B型・C型肝炎ウイルスの陽性率]



(2001年1月~2006年12月 日本赤十字社 初回献血者 3,748,422例)
厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業 肝炎ウイルス感染状況・
長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究 報告書(2011)

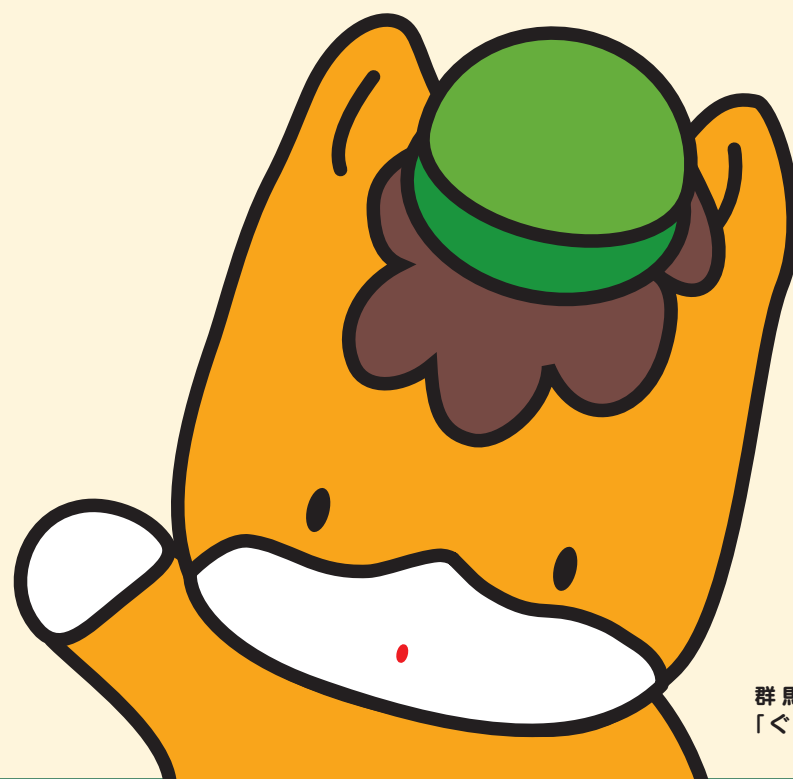


意外と! 簡単

感染の有無は血液検査で

肝炎ウイルス検査では、採血は数分、結果は1~2週間でわかります。一般的な健康診断に
肝炎ウイルス検査は含まれないことが多いので、ご所属の健康保険組合等に確認してください。
検査の結果がたとえ陽性でも、早期治療により悪化を防ぐことができます。

健康管理は
人生設計の
必須事項です。

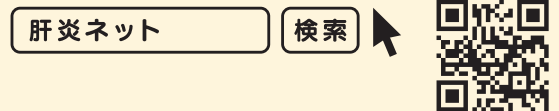


群馬県宣伝部長
「くんまちゃん」

もっとわかる、肝炎情報サイト

肝炎.net

<http://www.kanen.jp.net/>



感染がわかったら?

肝炎の治療は進歩しています。

医療や薬の進歩により、専門の医療機関で適切な治療を受けることで、肝硬変・肝臓がんへの悪化を防ぐことができます。
[主な治療法] 抗ウイルス療法 (インターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療)、肝臓保護療法

治療には 医療費の助成制度を利用できます!

「B型またはC型肝炎のインターフェロン治療」および「B型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療」について県に認定された方は、世帯の所得に応じて
ひと月当たりの医療費が軽減されます(自己負担限度額:原則1万円(上位所得者は2万円))。詳しくはお住まいを管轄する保健所へお問い合わせください。

お問い合わせは?

群馬県肝疾患センター

平日(月曜~金曜): 10時~17時

電話・FAX: 027-220-8179

※相談方法: 電話相談を原則とし、必要に応じて面接(予約)も対応可能。

共催: 群馬県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会 ブリストル・マイヤーズ株式会社